



平成30年2月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	52,070,556 万円	100.0%	102.1% (102.5%)	50,279,105 万円	100.6% (100.8%)
食 料 品	44,894,724 万円	86.2% (84.0%)	102.7% (103.1%)	43,449,128 万円	101.0% (101.3%)
農 産	6,988,140 万円	13.4% (13.1%)	105.9% (107.4%)	6,763,407 万円	104.2% (105.6%)
水 産	4,032,317 万円	7.7% (8.1%)	99.9% (101.4%)	3,900,618 万円	98.2% (99.7%)
畜 産	5,648,142 万円	10.9% (11.0%)	103.9% (103.0%)	5,457,513 万円	102.0% (101.1%)
惣 菜	5,239,854 万円	10.1% (9.8%)	103.4% (103.6%)	5,052,650 万円	101.3% (101.5%)
日配食品	9,944,969 万円	19.1% (18.5%)	101.8% (102.1%)	9,628,790 万円	100.2% (100.5%)
加工食品	13,041,301 万円	25.0% (23.5%)	101.9% (101.8%)	12,646,151 万円	100.5% (100.2%)
生活関連	3,193,922 万円	6.1% (6.6%)	98.8% (100.8%)	3,112,885 万円	98.1% (99.9%)
衣 料 品	1,246,366 万円	2.4% (3.2%)	95.7% (98.5%)	1,203,934 万円	96.2% (98.5%)
そ の 他	2,735,544 万円	5.3% (6.2%)	99.0% (99.1%)	2,513,158 万円	97.8% (96.7%)

② 数 値

全店総売上高	52,070,556 万円	店 舗 数	4,696 店舗
総売場面積	9,459,759.0 m ²	総従業員数	248,054 人

店舗平均月商	11,088.3 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,915.8 円 (101.2%)
月間m ² 売上(前月)	5.5 万円 (6.0 万円)	平均店舗面積	2,014.4 m ²
月間坪売上(前月)	18.2 万円 (20.0 万円)	パート比率(前月)	78.0% (78.5%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 2月の天候は、強い寒気の影響により全国的に気温が低かった。東日本の太平洋側では晴れの日が多く、日本海側では北陸地方を中心に、記録的な大雪に見舞われた地域があった
 - ・ 生鮮品の相場状況は、農産が引き続き野菜・果実ともに高値で推移した。野菜は前月同様「レタス」「キャベツ」「ほうれんそう」や「だいこん」などの葉物野菜や大型野菜の相場が高く、果実では旬の「みかん」や国産の柑橘類の相場が高かった
- 水産物においては、市場への入荷量が減少しており、高値が続いている

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は、価格が相場に左右されない「カット野菜」が好調であった
- ・ 全国的に寒い日が多く、「はくさい」「ねぎ」「菌茸類」などの鍋野菜が好調であった
- ・ 「じゃがいも」が相場安による販売価格の下落により、売上は不調であった
- ・ 果実は、旬の「いちご」が好調だった一方、「みかん」「雑かん」は好不調が分かれた

○ 水産

- ・ 鮮魚は入荷不足による不調が続いているが、「いわし」や「銀鮭」は好調であった
- ・ 前年はノロウイルス検出の影響により不調となった「貝類」であったが、本年はその裏年に当たり、好調であった

○ 畜産

- ・ 精肉は豚肉を中心に全畜種とも概ね好調、その中でも気温環境により「しゃぶしゃぶ用」などの鍋材料が売上を伸ばした

○ 惣菜

- ・ 節分における「巻き寿司」は概ね好調であった
- ・ 菜の花やたらの芽などの春の食材を使用した「和惣菜」や「天ぷら」が好調であった

○ 日配・加工食品

- ・ 前月から引き続き「冷凍野菜」や「漬物」「納豆」が好調であった。
これらの品群は、一時供給不足により、売場では品薄・欠品が見受けられた
- ・ 野菜価格の高騰により、サラダ関連品の「マヨネーズ」や「ドレッシング」が不調であった
- ・ 気温環境により、「嗜好品」や「スープ」などのホット商材が好調であった

○ 「節分マーケット」の状況について

- ・ 恵方巻きの予約販売は概ね好調であった
- ・ 節分当日が土曜日だったため、恵方巻きの手作りニーズが高く、生鮮素材のほか、「海苔」が好調であった
- ・ 「-half太巻き」や「こだわりの海鮮具材太巻き」、「肉系具材の太巻き」、「洋風太巻き」が好調であったほか、「茶わん蒸し」も好調であった
- ・ 「節分豆」が不調であった。原因として、「少子化」や「豆まきから恵方巻きへのイベントシフト」を挙げるコメントが見られた

○ 「バレンタインマーケット」の状況について

- ・ バレンタイン全体での売上は、昨年並みか、やや低調な結果であった
- ・ 手作り関連商材が軒並み不調とのコメントが多かった

○ 「冬の祭典期間の取り組み」について

- ・ 開催国にちなんだ「韓国フェア」を行なった企業が多かった。
実施内容としては、生鮮食品では流行の「チーズタッカルビ」や「プルコギ」「チャプチェ」を訴求し、日配・加工食品ではスポンサー企業のフェアを実施した

以 上